

# 迎春



2022.1.17



表紙関連記事は16ページ



スマホ

からも  
ご覧いただけます!



# ざかい

小国町議会だより 第151号

## 主な内容

- 2～3ページ 議長年頭あいさつ臨時会
- 4～5ページ 12月定例会
- 6～11ページ 一般質問6名登壇
- 12～13ページ 議会議員と語る会

# 年頭のご挨拶



小国町議会議長

高野 健人

明けましておめでとうございます。  
町民の皆様におかれましては、  
輝かしい初春をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。

一昨年に引き続き、新型コロナ  
ウイルス感染症の拡大が、  
人々の日常生活をはじめ、あり  
とあらゆる分野に変化をもたら  
し、本町においても町民生活や  
経済活動に大きな影響を及ぼし  
ました。昨年の議会活動を振り  
返りますと、町民に開かれた議  
会を目指し「高校生との意見交換  
会」や「議会議員と語る会」を  
開催し、町民との対話をとおり、

まちの活力の醸成、町民の幸せ  
づくりに皆様と共に取り組んで  
参ったところでございます。

議会の基本姿勢の礎となる  
「小国町議会基本条例」とこれ  
に基づく活動計画に沿った議会  
活動に取り組みます。

町民一人一人の声に一層耳を  
向け、議会一丸となって、行政  
とともに山積する課題に全力で  
取り組み、町民の付託にしかか  
りと応えていく所存であります。  
町民の皆様方の一層のご理解と  
ご協力をお願い申し上げます。

今年の干支である「壬寅（み  
ずのえとら）」は、厳しい冬を越  
えて、物事が芽吹き始め、新し  
い成長の礎となる年と言われて  
おります。

本年が皆様にとりまして、輝  
かしく実り多い飛躍の年となり  
ますことを心よりご祈念申し上  
げ、新年のあいさついたします。



## 臨時議会

第7回臨時議会が10月14日に開催された。  
一般会計補正予算で商工費委託料117  
万4千円が提案され原案通り可決した。

### ◆内容

旧温泉健康館「ゆくゆ」の施設を賃貸借する  
ための不動産鑑定と契約書の作成業務を委託  
する費用の提案。



# 旧温泉健康館「ゆ〜ゆ」再利用計画 出羽蒸留所株式会社立地へ ウイスキー × 畜産



ウイスキー  
樽イメージ▶



▲小国町での水田放牧の様子

## 会社概要

|      |                                                  |
|------|--------------------------------------------------|
| 社名   | 出羽蒸留所株式会社                                        |
| 所在地  | 小国町大字小国小坂町40番地1                                  |
| 代表   | 阿部 宗毅                                            |
| 設立   | 令和3年10月                                          |
| 資本金  | 300万円                                            |
| 事業内容 | ①酒類 ウイスキー・スピリッツ<br>リキュール・ビール・発泡酒<br>②畜産事業 黒毛和牛ほか |

蒸留所を運営する「出羽蒸留所株式会社」は、本町にゆかりのある県外企業の協力を得て、令和3年10月に設立された。その企業によれば、本町の豊富な自然環境を生かしたウイスキーの製造を行い、これに畜産経営を加えた事業の展開により、小国町が進める「白い森ブランド構想」に沿った商品づくり、経営スタイルを確立していききたいとのこと。

いたところ、香りと味わいが深まり、ヨーロッパで大変高い評価を得ることができたという。ウイスキーと畜産の組み合わせには、製造過程で欠かせない麦芽の絞りかすが大きなポイントであり、これを牛の飼料として活用することで畜産経営にも大きなメリットにつながる。「遊休施設を活用した蒸留所」そして「遊休農地を活用した水田放牧」で生まれる「ウイスキー」と「小国牛」は、ウイスキーの蒸留でつながる本町の新しい白い森ブランド品として大きな期待が寄せられる。

# 賛成8名 反対1名で可決 72億9146万円となる

## 主な条例改正等

- 小国町老人保健施設事業の設置に関する条例の一部を改正
- 公の施設の相互利用に関する協議について

要旨：西置賜管内の公の施設において、当該市・町の住民及び団体が同じ条件で利用できるよう当該市・町と協議を行う提案

### 対象施設

| 施設名称           | 所在地         |
|----------------|-------------|
| 長井市民文化会館       | 長井市館町北5-10  |
| 小国町おぐに開発総合センター | 小国町大字岩井沢704 |
| 白鷹町文化交流センターあゆむ | 白鷹町大字鮎貝7331 |
| 飯豊町町民総合センターあ～す | 飯豊町大字椿3622  |

### 陳情等

\*令和4年度理科教育設備整備費等補助予算計上について  
陳情者 お願い

広域社団法人日本理科教育振興協会  
会長 大久保 昇

\*令和3年度建設振興策に関する要望書  
陳情者

一般社団法人山形県建設業協会  
会長 國井 仁  
一般社団法人西置賜建設業協会  
会長 那須 正

\*人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること  
陳情者

沖縄戦戦没者遺骨の尊厳を考える市民の会  
代表 漆山ひとみ

\*山形県立小国高等学校への支援拡充について  
陳情者

県立小国高等学校を支援する会  
会長 安部 昌晴

\*ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い  
陳情者

ウイグルを応援する  
全国地方議員の会  
会長 丸山 治章ほか

### 専決処分

\*令和3年度町民総合体育館外装改修工事契約の一部変更

\*交通事故に基づき生じた損害賠償の額の決定についての専決処分  
賠償額 336,000円  
請求者  
宮城県石巻市 鮫名 友治

## 定例会の

## あらまし

12月定例会は、12月2日から8日までの7日間の会期で開催され、各会計補正予算、条例の制定2件などを原案どおり可決した。  
一般質問では6名の議員が町政全般について、町当局の考えを質した。

# 12月 定例会

# 一般会計補正予算 一般会計予算総額

## 一般会計補正予算の主な内容

|                                                                       |                                                          |        |
|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|--------|
| 総務費                                                                   | ふるさと納税増加に対する返礼品にかかる費用                                    | 1128万円 |
|                                                                       | 町顧問弁護士報酬金                                                | 125万円  |
| ※あけぼの地内の行政財産に関する住民控訴裁判に関わる費用                                          |                                                          |        |
| 民生費                                                                   | 老人保健施設「温身の郷」負担金                                          | 2800万円 |
|                                                                       | 老人保健施設「温身の郷」出資金                                          | 1500万円 |
| 衛生費                                                                   | コロナワクチン3回目接種体制確保費用                                       | 50万円   |
|                                                                       | 病院事業会計負担金                                                | 2億2千万円 |
|                                                                       | PCR検査機器導入経費                                              | 150万円  |
|                                                                       | 児童福祉扶助費                                                  | 4650万円 |
| ※子育て世帯への臨時特別給付金1人50,000円(先行給付金)                                       |                                                          |        |
| 農業費                                                                   | 来年度産米種子購入費支援                                             | 884万円  |
|                                                                       | 環境保全型農業直接支払い交付金                                          | 151万円  |
| ※ソバの生産活動を行っている2農業者に対しての交付                                             |                                                          |        |
| 商工費                                                                   | 地域共同・販路開拓事業支援金                                           | 500万円  |
|                                                                       | ※仙台アンテナショップを令和4年3月まで継続し特産品の販路拡大と新規開拓のため(株)小国町地域総合商社に支援する |        |
|                                                                       | まちなか中核施設再生構想策定支援事業                                       | 150万円  |
| ※「アスモ」の商業機能やコミュニティ機能の充実強化による複合施設への転換を調査研究する構想の策定をするため、いきいき街づくり公社に支援する |                                                          |        |

## 討論

### 反対討論

小関 和好 議員

今定例会における小国町総合商社に対する補助金500万円の提案は、町民の不振をますます募らせるものと考えます。世間では、10万・20万円のコロナ給付金でさえデータを添えて申請をしている。500万円という大金を補助するのであれば、今までの実績報告書、今後の計画書、500万円の使途を添えて申請書を提出するのが筋である。現状においては、補助妥当とする判断材料が全くなく賛成とは言い難い。今後、町民・議会に対して十分な説明のうえ、再提出が妥当と判断した。

よって今一般会計補正予算案には反対する。

### 賛成討論

間宮 尚江 議員

当該予算は、コロナ対策を含む各課計上された予算であります。

「小国町地域総合商社」の補助金事業は、アンテナショップ仙台店への運営に充当するとの上程提案であり、「白い森ブランド構築事業」の核となるアンテナショップ運営を支援することは、本町の資源や価値が「都市部消費者への情報発信・情報収集・観光施策」へと繋がるものです。

更に商品を提供している約20社以上の町内事業主、個人事業主の方々にはコロナ禍における厳しい状況のなか、今後も自信と誇りを持って生産していただくための重要な予算であると判断し、賛成致します。

## 人生100年時代を見据えての高齢社会について

ま みや ひさ え  
間宮 尚江 議員



高齢者支援の拡充を

**間宮** 高齢化率の上昇により、今後も多様な支援が必要だ。在宅医療・遠隔医療に向けた環境整備と同時に、高齢者のICT教育への早期支援が重要ではないか。更に、ケアラー支援も横断的に展開するべきでないか。また口腔予防であるオーラルフレイル予防による健康寿命延伸を充実化していくべきではないか。そして、本町における高齢者支援とされる除排雪の人手不足対応や「灯油購入助成事業」の増額等を伺いたい。

高齢者は、本町の礎を築いてきた方々であることは間違いない。長寿は恩恵として、高齢者の尊厳を守るべく施策は重要である。いかがお考えか。

健康で住み慣れた地域で

**町長** 病院に足を運ぶことの負担が大きい方に、少ない医療スタッフで効率的に医療を提供していく上でICTを活用した遠隔診療には期待するが、操作も含めハード・ソフト面に課題がある。ケアラー支援も民生委員・児童委員による地域福祉の取り組みにより適宜把握に努めている。更に、健康増進事業により重症化の予防は重要と考える。除雪に関してはシルバー人材センターの会員減の人手不足や、関係団体の除雪を行う方々も、豪雪になると町全体の需要に追い付かなくなる。民生委員の皆さんとの連携を密にしながら住宅損壊に繋がらないように対応していく。「灯油購入助成事業」で

は、県の補助事業であることから国、県の動向に注視していく。小国町の地域資源や条件に合わせながら健康で住み慣れた地域で暮らせるよう取り組んでいく。

ゴミ出し支援を

**間宮** 紙おむつ等含む高齢者世帯のゴミ出し

支援は、環境省の施策に照らし合わせ、早急に対応するべきでないか。

**町長** 高齢者の尊厳を守るべきこととして、肝に銘じて行っていきたい。



高齢者体育大会の様子



## 高規格道路開通後の 町づくりは

あべはるみ 安部 春美 議員

大宮地内に「道の駅」を

道の駅までは別のルート

とに組み込むのも重要ではないか。

観光案内に力を

い。町民の意見を多く聴いていく。町が活性化するのが一番重要である。

安部 インターから、道の駅までの道路はどうするか。

町長 大宮地内の農地問題もあるので、どの方法が小国町の発展に繋がるのか考えている。インターネットを使った観光案内を早い時期から力を入れた

町長 連絡道路は必要と考える。国や県の方と相談している。

安部 新潟山形南部連絡道路は、小国道路のルートもほぼ決定し事業着手となった。新潟市、仙台市は各分野において日本海経済圏、太平洋経済圏の中核都市であるが、この両都市を結ぶ高速交通体系が整備されることによつて、本町に新たな地域活力が生まれる。高規格道路は大宮地内に、インターができると聞いているが、インターを降りた場所に道の駅、緊急避難場所等を整備し、新たな町づくりの拠点にしてはどうか。大宮子易両神社は歴史ある神社であり、遠方からの参拝者もいる。次世代に向けた新たな町づくりになるのではないか。

町長 小国インターから道の駅「白い森おぐ」に「までは、別の形態を確保したいと国、県と協議している。大宮地内は農地の集積地帯である。土地活用には慎重に検討する必要がある。今後は、道の駅を町民や来訪者が一層楽しめる空間整備を行いたい。また、道の駅「白い森おぐ」は災害復旧拠点として国土交通省山形河川国道事務所と防災協定をすでに締結している。

経済効果の可能性は

安部 単なる中間地点になり、他の自治体に人が流れるのが心配だ。人の数は可能性の数というように、新たな町づくりに向けて長い目で見て、様々なこ



(仮称)小国インター予定地

## 未だ先が見えないコロナ禍による経済対策について

柴田 伸也 議員



不安をどう解消する

**柴田** 緊急事態宣言が解除された後、新型コロナウイルスウィルス感染者数が急速に減少した。ワクチン接種も全国で進み、紅葉シーズンでは道の駅や名所などは多くの賑わいをみせた。しかし町内周辺部ではさほど賑わいはなく、町内の店舗、飲食店では多くが先行きを不安視している。様々な支援をしていただいていたが、今後も厳しい経営が予想される。未だ先が見えない町内の業種への経済対策をどう打ち出すのか。

より効果的な経済対策を構築し展開する

**町長** 道の駅や紅葉スポットなど話題性の高い施設などが賑わう中、町内の小売店、飲食店等については未だコ

ナ禍以前の水準には戻っていないとの声が多い。原油価格の高騰や原材料費の値上げなど事業継続意欲の低下が心配される。

約2年に及ぶコロナ禍において、町内事業者等に支援を行ってきた。全町民に配布した割引クーポン券など、経済対策の総額は2億2千万円を超えている。アフターコロナに向けて町内事業者の活力を回復させるため、様々な媒体を活用し小国町や町内産品の魅力を発信していく。

町への影響は把握しているのか

**柴田** 町商工会もコロナ禍による影響等の確認を行っている。町職員も同じく出向いて確認をしているのか。

情報は収集している

**産業振興課長** 町商工会と常に情報交換を行い、情報を収集している。また、個別に町内の事業者からの相談にも対応している。

**柴田** 町の各組合等には聞き取りはしないのか。

産業振興課長 町内にはいろいろな組合があるのは認識している。

実態を聞くと運営が成り立っていない組合も多いので、機能している組合は、情報収集をしていきたい。

※その他に、賑わい作り等の提案を行った。



賑わいを取り戻したい飲食店街



## 大幅に減少する出生数の対策は

わた なべ しげ のぶ  
渡 邊 重 信 議員

出生数が危機的な状況

**渡邊** 令和3年度の出  
生数が14人と聞いて危  
機感を感じている。5  
つのことについて伺  
う。

出生数減少に対する  
小国町独自の対策はあ  
るか。また今後どのよ  
うな対策を打つのか。

**町長** 町立病院に小児  
科を常設、病後児保育  
を立ち上げ、保護者が  
安心して就労できるよ  
うに努めている。

保小中高一貫教育の  
学びの体制は、ほかに  
勝ると考える。

保育料の第三子の無  
償化、第二子を半額す  
るなど国の政策を先取  
りしている。

今後もこれらの内容  
を継続しながら改善す  
べきところは改善して  
いく。今までやってき  
たことが今後実を結ぶ  
と信じている。

**渡邊** 保護者のニーズ  
をどのように把握して  
いるのか。

**町長** 令和2年3月の  
子ども子育て支援計画  
の策定時に保育園児か  
ら小学校三年生までの  
保護者に対して二ーズ  
調査を行った。

**渡邊** 中央児童室の受  
け入れ時間の延長の拡  
充はできないか。

**町長** 夏休みの受け入  
れ時間拡充は一定の成  
果があった。今後も保  
護者の声に耳を傾け、  
慎重かつ丁寧に対応し  
ていく。

**渡邊** 放課後デイサー  
ビスの導入は進んでい  
るのか。

**町長** 実施施設に指導  
を受けた結果、規模的  
に難しいとのこと意見を  
いただいた。規模的に

民間の参入は難しいの  
で中長期的な検討が必  
要と考える。

計画の見直しをするべ  
き

**渡邊** アンケートに対  
して、聞きっぱなしに  
なって答えていない。  
声を聴き第五次総合計  
画の見直しが必要な  
のではないか。

必要なことはやってい  
く

**町長** 対応できること  
は次期策定を待たずに



安心して保護者を待てる延長保育



放課後スポーツ教室

実施していきたい。  
説明は丁寧にするべき

**渡邊** 町の計画が町民  
に届いていない。  
もっと丁寧に説明す  
べきではないか。

**健康福祉課長** 公表で  
きないこともあり、ご  
理解いただきたい。  
(答弁かみ合わせ)

**渡邊** 子育てにやさし  
い町といえるよう、次  
回も引き続き質問して  
いく。

## 高齢者に対する越冬の施策は

こ せき かず よし  
小 関 和 好 議員



越冬は当町の大きな課題

**小関** 昔から、小国町の大きな課題は、いかに冬を乗り越えるかである。

時代と共に機械化が進み除雪の方法は格段に進歩したが、高齢化が進み除雪をする方もされる方も大変になって来ている。行政の様々な対応も見受けられるが、今冬の状況と今後の構想を聞きたい。

1、灯油補助の増額は無い。また、手続きの簡素化はどうなったか。

2、宅道除雪の状況はどうなっているか。

3、高齢者宅の雪おろしの体制と状況は万全か。

4、移住者が困ることの無いように相談窓口の設置や、雪に対する支援は無い。

様々な面で鋭意取り組んでいく

**町長**

人口減少・少子高齢化の進行、核家族の進展、高齢者世帯や高齢者の一人暮らしの増加など環境の変化は、雪と関わる人々の生活に新たな変化をもたらしている。避けて通ることのできない雪との生活を、様々な面で改善できるように鋭意取り組んでいく。

1、灯油助成の見直しについては、県からは具体的な方針は示されていない。国の動向、原油高騰の推移などを見ながら検討していく。申請手続きについては、代理の方でも可能としている。制度上の理由

で窓口での申請をお願いしている。

2、「住宅道路除雪支援事業」については、現在約30世帯で、大きな変動はない。当初お願いしていた事業者の協力が困難になったことから、シルバー人材センターに委託している。

3、高齢者宅の除雪支

援は、同様にシルバー人材センターに委託しているが、会員も年々高齢化し、昨年のよう大雪には対応しきれなくなってきた。募集はしているが人材の確保に苦慮している。

4、移住者の相談には移住定住担当が当たることとなっている。



人材確保が課題の除雪体制



## 町立病院の経営状況と 病院改革の取組み

こばやし よしみ  
小林 嘉 議員

病院事業の決算予想は

**小林** 「新型コロナウイルス感染症」の対応には感謝申し上げる。病院の事業決算見込みを聞きたい。

大変厳しい状況にある

**町長** 昨年度は、人口減少や医療環境の変化などの要因に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で診療控えや、診療内容の制限などの影響で入院、外来共にかつてない低い患者数となり、一般会計からの負担金は約4億2千2百万円と過去最大の金額となった。

今年度も低水準で推移しており、コロナ関連補助金が一部終了し、極めて厳しい決算が予想され、将来にコロナ禍が収束してもコロナ禍以前に戻ることはないと思う。

置総病院と連携強化を

**小林** 厳しい決算予想を踏まえ、公立置賜総合病院と更に連携を深める必要がある。

連携の在り方を研究する

**町長** 医業分野の連携は、専門的な医療への紹介、転院時の支援など、今後も更なる連携強化が必要である。

これに加え、今後は、医療人材の確保や育成の分野でも、自治体病院単独では限界があり、何らかの形で連携強化が必要である。

今後、その在り方について研究していく。

病院存続に向け知恵を

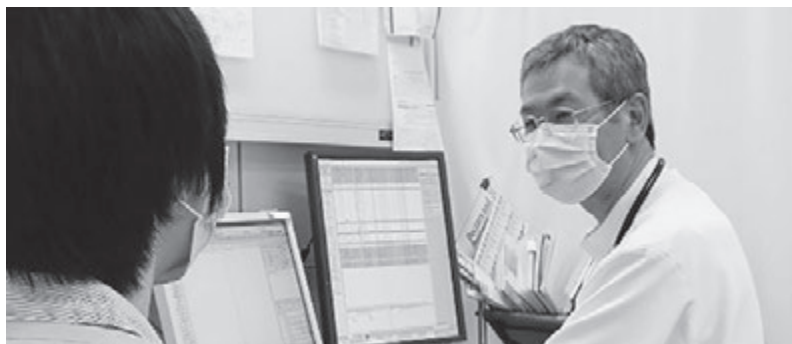
**小林** 病院自らが存続に向けた議論が必要ではないか。

サイズダウンが不可避

**町長** 町立病院の最も重要な役割は、一次医療の提供や包括ケアシステムの推進にある。

一般会計負担金の増大や、医師や看護師の確保の困難さが増していることなどで、現状のままでの持続は、極

めて難しいものと捉えており、五年後、十年後も町立病院を存続させるためにサイズダウンが不可避である。夜間と休日の救急告示病の指定を取り下げ、病床数を現在の55床から10床程度削減する方向で「次期病院改革プラン」に盛り込む。



診療中の伊藤町立病院長

# 議会議員と語る会

日程等  
11/18

小国町社会福祉協議会  
おぐに社協ホームヘルプサービス  
テーマ「高齢者世帯の現状と課題」  
担当議員 小関和好・渡邊重信  
安部春美

日程等  
11/18

小国町商工会女性部  
テーマ「10年後の小国町の未来  
～誇りに思うこと・  
～残念に思うことから」  
担当議員 柴田伸也・今 康成  
遠藤和彦

日程等  
11/16

JA山形おきたま小国地区女性部  
テーマ「農業女性からみた小国町」  
担当議員 小林 嘉・伊藤弘行  
間宮尚江

小国町議会では地域課題を把握し、町政への反映を目的に、議会活動計画に沿った活動として、今年は女性の活動にスポットをあて三団体と「議会議員と語る会」を開催しました。

主なご意見等をお知らせします。



## 主なご意見

- スタッフ不足のためイベントを集約したらどうか。つむぐさんなどと連携したい。
- 加工場がほしい。(JAには要望しているが、実現には至っていない)
- 牛の共励会の周知が必要では。共励会を通じ、未来を担う子どもたちに牛に触れさせる機会を作ってはどうか。
- 若い人たちに力を貸してあげたいし、もっと頑張ってもらいたい。そのきっかけづくりを行政にも手伝ってもらいたい。
- 移住関係の役場の相談窓口は総合政策課だが、農業に興味をもつ移住希望者もいる。もっと産業振興課やJAなどと連携してもらいたい。

## 出席者 (敬称略)

- 齋藤 誠
- 齋藤喜代子
- 江口ちひろ
- 大嶋 愛
- 菊地 憲子

## JA山形おきたま小国地区女性部



## 主なご意見

- レシピ付きの山菜の販売や町内に山菜料理を提供する飲食店の充実が求められる。
- 移住する若い人たちを受け入れる体制がもっと充実すれば、子育て世帯の人口が増えるのではないかな。
- 商工会のイベントに行政の力を貸してほしい。そうすれば、もっと人が呼べるのではないかな。
- 道の駅の飲食スペースについては、長距離トラック運転手を対象としたファストフードを充実させてはどうか。
- 街なかに花があることはいいこと。道路や各所にプランターなど設置し、町の賑わいづくりに繋げていってはどうか。
- 10年後に商売が続けていけるか心配。人口が減ることで人手不足や後継ぎ問題も顕著となってくるのでは。

## 出席者 (敬称略)

- 猪野みどり
- 佐藤友理子
- 鈴木 恵子
- 長谷部洋子

## 小国町商工会女性部



## 主なご意見

- 周辺部の高齢者については、移動手段がなく、困っている高齢者が多い。
- 高齢者を住民間で支え合う仕組みづくりが必要。(見守り・安否確認)
- 真に必要な方に行き届くサービスの仕組みづくりを望む。
- 灯油助成について、申請手続きの簡素化が図れないか。(健康福祉課に行かなくてもよい仕組み、現物支給も検討)

## 出席者 (敬称略)

- 舟山 麻美
- 今野 順子
- 山口 英明

## おぐに社協ホームヘルプサービス

(撮影時のみマスクを取っています)

## 総務厚生常任委員会

令和3年10月18日

第10回委員会

- 小国町立病院・介護老人保健施設
- 地域包括ケアタウンについて

令和3年11月22日

第11回委員会

(健康福祉課)

- 高齢者等暮らし応援事業について
- (総務課)
- 町有財産の保全について

(小国町立病院・介護老人保健施設)

- 地域包括ケアタウンについて

令和3年12月3日

第12回委員会

(健康福祉課)

- 新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について



## 文教産建常任委員会

令和3年11月29日

第10回委員会

(教育委員会)

- 令和4年度叶水小中学校の有り様について

(産業振興課)

- 道の駅芝広場  
斜面緑地化整備  
工事について



工事が進む道の駅花公園

- 新型コロナウイルス感染症対策にかかるとなる主な経済対策について
- 有害鳥獣対策について

令和3年12月3日

第11回委員会

(地域整備課)

- 令和3年度除雪計画について
- 町営住宅家賃の算定誤りの対応状況について

## 広聴広報常任委員会

令和3年9月16日

第8回委員会

- 議会だより150号の編集について

令和3年9月17日

第9回委員会

- 議会だより150号の編集について

令和3年9月28日

第10回委員会

- 議会だより150号の校正について

令和3年11月29日

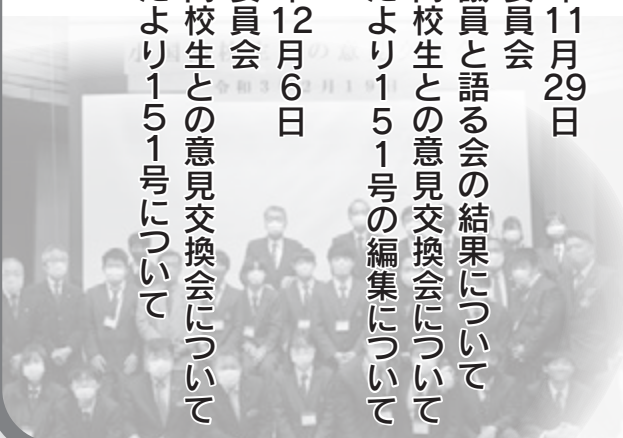
第11回委員会

- 議会議員と語る会の結果について
- 小国高校生との意見交換会について
- 議会だより151号の編集について

令和3年12月6日

第12回委員会

- 小国高校生との意見交換会について
- 議会だより151号について



## 各種行事

令和3年10月15日

### 小国町・関川村議会議員交流会

● 関川村民の健康増進施策としてのトレーニングセンターの体験をしながらお話をうかがった



関川村  
健康増進施設コラッシェ  
(「ゆ〜む」に隣接)



令和3年10月20日

### 町村議会議員研修会

山形市ビッグウイングでの開催

#### 講演要旨

- ① 経済とSDGsについて
- ② 今後の政局について



SDGsについて講演する  
野村修也氏

令和3年10月28日

### 西置賜地区市町

#### 議会連絡協議会定例総会

### 小国会場での開催

#### 講演要旨

小国町の学校と地域との関わり  
について



取り組みについて説明する  
渋谷洋司氏

## お知らせ

### 議会だより

### モニタースタート

議会だより150号において「議会だよりのモニター」を募集し、4名の方々にお願いすることとなりました。

モニター期間は令和4年1月号から令和5年1月号までです。よろしくお願いいたします。



### 町民参加で

### 読みやすい議会だよりを

### 作っていきます

わたし達も  
おぐに町民

## プロフィール

名前(住所)

西長 三四子さん 78歳

幸町在住(寒河江市出身)  
赤十字奉仕団・踊り等

## プロフィール

名前(住所)

長岡 洋子さん 71歳

緑町在住(長井市出身)  
歩こう会・グラウンドゴルフ・踊り等

Q 小国町に来て何年ぐらいになりますか？

A 西長 今年で53年になります

A 長岡 私は50年です。

Q 小国町の楽しみ方は？

A 西長 小国町には人が気軽に集まれる施設こそ少ないですが、色々な方々が活動し集まる機会は多いですね。

A 長岡 町なかには趣味の集まり、習い事も多く、気軽に参加できて楽しんでいます。



周回カウント カチャ!

Q 新年に期待することは？

A 西長 新年はコロナ

の不安もなく沢山の方々と楽しく活動したいです。町にはふれあいの場を作って欲しいです。

うです。小国町に欲しい施設や要望も沢山ありますが、今ある施設を活用しながら皆さんとの交流を大切に、小国町で楽しく暮らしていきたいとおっしゃっていました。

これからは、交流の楽しさを伝えていきたいといきいきと話して下さいました。

(文責 渡邊)



元気に仲間とウォーキング

この他にも沢山の活動をされているお二人です。孫にも手が掛からなくなり、色々な方々に誘ってもらえる機会が増えたそ



次は3月定例会です。傍聴にいらしてください。

議会に対してのご質問、ご意見をお寄せください。

議会事務局 (62)2448

## 編集後記

議会基本条例の第二条「目指す議会像」に「町民に開かれ町民参加を推進する議会」「町民の意見を的確に把握し実現に向け努力する議会」とあります。昨年11月、農協小国地区女性部、小国町商工会女性部、おぐに社協ホームヘルプサービスの女性の方々からご意見をお聞きしました。貴重なご意見が続出し提起されました。個々の議員活動が、今年からの政策提言に向け、今年の一つでも多く実現の努力をして参ります。

発行責任者 小林(記)

議長 高野 健人  
副議長 小関 和好

委員 伊藤 弘行  
副委員長 渡邊 重信  
委員 柴田 伸也

間宮 尚江  
小林 嘉